

不都合を敢えて容認で可能になる大好機 I <赤い悪魔が暗示する日本弱点>.2018/7/7

“日本は完璧だった。見事なカウンターを見せてくれた”逆さまで自国ベルギーの事！！(鈴木)。

.....対戦チーム日本に関してのベルギー勝利監督コメント。

補足:カウンター=逆襲、現代サッカーは守備固めが基礎にあり、一度、守備陣形を固めると得点は容易でない。

そこで自陣攻撃中の相手玉奪取すれば、この時は相手守備陣形が最も手薄状態なのだから、素早い展開は絶好の攻撃機会。高い得点確率の事実は統計的にも裏付けらる。一般に不利な状況から、逆転一発脱出ですばやい攻撃に展開する事。不都合状況を積極的に認め、脱出逆転を策する事は世間一般論でも重大戦略！！

[1]:大歓喜(勝利)と大落胆(敗北)=地球人多くが大共振サッカー、それは心理戦人生縮図？！。

(1)現代サッカーは組織戦、一般に一点獲得が容易でないです。それゆえに歓喜と落胆が狂気乱舞。7/3日本ベルギー戦、当初2-0で一時大勝利希望を抱かせ、その後の連続失点2点と試合終了間際のカウンター発逆転敗北は大衝撃。ベルギー陣での日本攻撃中での逆転速攻一発での負け。ベルギーはスイスと似た国際都市で、彼らは智謀人なのだと思う、日本の当初二点獲得は心理的に保守、もしセネガル時の如く日本が最初に失点ならば失う物なしの恐さに変身、2-2時点で日本はどうしても、もう一点欲しいの心理で、守備を一瞬忘れたのだろう。

#ポーランド戦中、セネガル失点情報で、0-1敗北状態での攻撃停止命令の時点、

#ベルギー戦2-0点先行の時点、

この時点で守備徹底陣形に遷移し、カウンター発狙いにする戦略があった。遠く相手陣営に目立たない1.5人程度のゴール狙撃手をフラフラ配置、残り全員が守備徹底と言う陣形だ！！

(2)前監督解任理由とカウンター。

カウンタを知らないサッカー選手は居ない、それで居て、素人観戦者筆者が言うのもどうかだが、前監督は主流派の縦長パス(カウンタ)で独裁指導、他方日本選手は横短パス戦術も希望、後任監督は選手意見拝聴型と言われる。今回注目されたスペインで働く後衛選手は前者型で大貢献。他方勝利試合では日本女子サッカーWカップ優勝を可能にした究極技術ワンタッチサッカーが散見されるは注目。縦横短パス戦術:究極技術の玉制御-直接パス多段結合の速攻サッカーならば同意できる事だ。筆者は過去に2回サッカーを話題にしたが、最初から同じこと(カウンター)を反復してる。安全策ではないが守備バックスが玉保持に拘らず、事前約束-事前練習で前線に賭け一発で通す事。サッカー=相手想定の裏をかく事で予測困難な乱動混合型が最善なのだろう。

(3)闘う者は最優先目的達成の為に不仲-不安発生も日常と受け入れろ！！、

帰国選手コメントを聞いて残念な事は、お世辞であろうが、仲間等に関して肯定的発言多発、これは**既成体制絶対肯定=批判ご法度厳罰**の悪評高い日本のマスコミ演出も働いてるのですが、プロスポーツ選手が退職後にマスコミ就職事例也多発で、彼らはマスコミを敵に出来ないが、他方でプロ選手収入は競技場観戦者切符収入であり、基礎収入源ファン多数は勤労者です。

無論チーム仲間関係が安定好環境は望ましいが、それは最優先事項でないです、
先ずは組織戦で勝利する具体性を我等に見せ付ける事で歓喜感動勇気自信と(、他方優勝以外
では必ず敗戦での悲嘆)、その為の達成への苦勞苦闘教訓こそが望まれてます。敗戦では徹底
した分析での自己批判と新規創造なくして、無意味です。今回は敗戦帰国ですよ！！！！。
国内が圧倒的の一つにまとまる稀有事例として、戦争とWカップ以外にないです！！。然るに今は
前者にしない為の国内政治もなければ平和時代サッカーも今後は出来なくなる。それは正義真実
での団結力次第。

(4)女子Wカップ優勝チーム技能と監督を無視とはこれ如何に？。

素人筆者が思うに腕力ともあれ、脚力と能力で女子サッカーが男子に劣るとは思えない。
然るに今回のTV中継ではその関係者が解説者に招請されないし、男子サッカー界ではあまり
話題にもならない。然るに彼女らを世界一にしたのは自主開発の直接パス多段結合での
速攻、これは玉制御でもダイレクトパスが一番難しい、それよりも玉を受けた時点で次の
パス先が決定済みである事は球出し側の認知と受けて側の位置取り認識で有効な経路が即
効的に形成されねばならず、これは究極サッカーになる。この重大さを誰も指摘しないの
は全く怪奇としかいえない。日本サッカー協会の怪奇性はこれだけでないのだ、ズバリ優秀
な国内人材を無視してる。然るに物理界でも類似問題が指摘できる。宇宙に働く電磁力、
核反応の弱い力と強い力、そして重力の統一理論を1956年に創始したのは日本人物理学者。
プライド誇り自慢は聖書では無用な事とされる。それは私的な事で、広い世界の事でない。
それよりも実態として困難に立ち向かえる自信こそが実態実効的である。その時に日本人
仲間に世界一が居るという事実は力になる出ないか！。自分らにも出来ると自信だ。
日本人には自信を持たせてはいけないと言う逆さまが戦後日本を隠微に裏支配してる。

(5)世界最大人気サッカーだけが演出できる事！、

つかの間の期間だが、久々に大歓喜と大失望の双方を味わえ選手関係者各位に感謝！！
町では普段は見えざる孤獨？にある人々が共感の大輪を作ってるのが非常に嬉しい。FIFAプロ
サッカー世界では日本人選手が欧米等全国各地に広く雇用され、見えざる庶民外交になるのも
非常に友好な事だ。片時なれどFIFAワールドカップはあの怪しい国連以上に世界を一つにする
稀有事例でしょう。